

(公社)富山県高等学校安全振興会

会報

第4号(平成27年12月19日)

〈発行者〉

公益社団法人 富山県高等学校安全振興会

〒930-0018 富山市千歳町1-5-1

富山県教育記念館

TEL 076-432-2810

FAX 076-432-1501



「臨床心理士講演会」(富山東高等学校)



「性教育講座」(富山第一高等学校)



で 挨 拶

公益社団法人に移行して2年を迎え、皆様のご理解とご支援のもと活動させていただき心より感謝いたします。

さて、社会環境が様々に変化をしていく中、子供たちの周辺でも共済事業をご活用いただく機会が増えてきていることは、当振興会としてその役割を果たしている証左であります。痛い思いをした子供たちはもとより保護者にとっても残念ながら歓迎したくないことです。

昨年も小欄で紹介しましたが、1929年アメリカで発表された「ハインリッヒの法則」という労働災害における経験則があります。これは1つの重大事故の背後には29の小事故があり、さらにその背後には300の兆候(ヒヤットしたり、ハットしたりすること=ヒヤリ・ハット)があるというものです。これに倣えば1件の重大な事故や怪我は、300件のヒヤリ・ハットを経験すると起きることになります。あくまで確率論ですが、子供たちや学校(指導者)、保護者がヒヤリ・ハットの段階で、事故や怪我につながる兆候を排除し十分な気

公益社団法人 富山県高等学校安全振興会

理事長 牧田和樹

配りをするようになれば、重大なものはおろか小さな事故や怪我也回避することができると考えます。

また、助成事業については定常的にご活用いただいておりますが、活用内容についてさらに検討を加え、これまで以上の成果をあげていただきたいものです。

全国高等学校PTA連合会が実施した高校生生活・意識調査の報告書では、子供たちの自尊心が学力やスマホ依存、親子関係、友人関係などの、現在の高校生が抱えるほとんどの問題に相関があると示されました。子供たちが自尊心を持っていないために高校生活を有意義におくることができないのは非常に残念なことです。まずはそれぞれのご家庭や学校で子供たちの自尊心や重要感を高めていただくことが大切ですが、助成事業の活用により有識者の意見を聞くなど、そのための学びや実践の機会を提供することも有意義であると考えます。

いずれにせよ当振興会は今後とも、子供たちが安全で健康な高校生活をおくることができるよう、皆様とともに活動させていただきますので、変わらぬご理解とご支援をお願いいたします。

平成27年度 定時社員総会を開催

平成27年度定時社員総会は平成27年6月2日に富山電気ビルディング5階大ホールにおいて、富山県高等学校PTA連合会定期総会終了後開催されました。

牧田理事長の挨拶に続き、来賓を代表して富山県教育委員会生涯学習・文化財室の齋藤幸江室長より祝辞を賜りました。

総会では、平成26年度事業報告、平成27年度事業計画・収支予算書について報告がありました。その後、平成26年度決算(貸借対照表・正味財産増減計算書)について協議し、原案どおり承認されました。

また、本総会終了を以て理事・監事の任期が満了するため、平成27年度・28年度理事・監事を選任しました。牧田理事の他4名の理事が再任され、4名の理事と2名の監事が新たに選任されました。任期は2年間で、平成29年に開催される定時社員総会終了を以て任期満了となります。



総会後の理事会において、代表理事(理事長)に牧田和樹理事が、常務理事に清水好勝理事が選任されました。

総会後の理事会において、代表理事(理事長)に牧田和樹理事が、常務理事に清水好勝理事が選任されました。

第5回全国高等学校安全互助会連絡協議会総会及び研究大会(沖縄大会)

平成27年10月22日・23日に沖縄県市町村自治会館(那覇市)において、第5回全国高等学校等安全互助会連絡協議会総会及び研究大会が開催されました。

本大会は、高校生等への共済事業を行っている団体の連携を深め、質的向上をめざして研究協議を行う大会で、北海道から沖縄県まで15団体、60人余が参加しました。

総会に続いて研究協議が行われました。「PTA等共済法施行から5年～共済事業の現状と課題～」と題して文部科学省の講義があり、事例発表として「保険業法改正からPTA・青少年教育団体法成立までの経緯について」(鹿児島県)と「公益法人化で何が変わったか～公益法人として1年が経過して～」(富山県)の2県から発表がありました。その後、各団体が抱える問題点等に関する協議等があり、充実した研究大会になりました。

次年度は平成28年10月6日・7日に岐阜県岐阜市で開催されます。



県高P連との共催事業 県高P大会・指導者研修会記念講演



安全振興会と県高P連との共催による記念講演会が、「富山県高等学校PTA大会・指導者研修会」(平成27年10月20日)で開催されました。安岡定子事務所代表で、銀座・寺子屋子ども論語塾の代表である「安岡定子」先生を講師にお迎えし、『論語に学ぶ～論語は美しい言葉と智慧の宝庫～』という演題で行われました。県高P大会・指導者研修会の参加者に私立高等学校PTA約30名が加わり、260名余が参加しました。論語の章句を参加者全員で素読し、論語塾での子ども達との体験を交え、論語の世界をわかりやすくお話しになり、90分間がとても短く感じ、得るものの多い講演会となりました。

先生は、「読んで何かしら救いになるもの、心のよりどころになるものが得られるのが論語の良いところで、年齢を重ねて経験を積んでいくほどに味わえるのが良いところ。」と論語に触れることの喜びを話されました。

また、「孔子は10代半ばで、良い国を作りたいとの志を立て、その実現に一生努力を続けた人です。過去を学ぶことにより、良い人物がそろっている国こそ発展していることに気がつき、人材教育に一生を捧げた人です。論語は弟子に語った言葉や政治家などの問答を集めたもので、論語を読むことは言葉との出会いです。」と孔子の人物像や論語編纂の背景などを話されました。

その後、「学んで時に之を習う、亦悦ばしからずや。朋有り、遠方より来る、亦楽しからずや。人知らずして慍らず、亦君子ならずや。」や、「故きを温ねて新しきを知れば、以て師と為るべし。」「性、相近し。習い、相遠し。」「教え有りて、類無し。」などの章句について解説され、学ぶことの楽しさ、苦を共にした友の大切さ、人の評価を気にせず努力することの大切さ、良い習慣や教育の大切さなどについて話されました。

最後に、「良き人物や良き言葉との出会いが人生を豊かにしてくれます。この人はと思える人、これは大切な宝物と思える言葉と出会ったら、たった一人でも、たった1つの言葉でも構わないので大事にしてください。若い人に必ず考えてくださいとお願いし、実践していますが、考えるためにはその材料をいっぱいプレゼントしないとイケないと思っています。そのために論語の言葉をたくさん子どもたちにプレゼントしていきたいと思っています。」と話され、講演を締めくくられました。

助成事業報告

高岡高等学校「心の安全教育」 性に関する講演会 心を育てる講演会

高岡高校では、富山県高等学校安全振興会の助成をいただき、「心の安全教育」として、毎年二つの事業を実施しています。夏季には1年生を対象に「性に関する講演会」を、3月には新1年生の保護者を対象に、合格者説明会に併せて実施しています。

1. 性に関する講演会

今年度は、種部恭子先生（女性クリニックWe！TOYAMA院長）を講師にお迎えし、8月26日（水）に実施しました。



約1時間、280人が「性のトラブル」について熱心に聞き入りました。望まない妊娠・性感染症・性暴力とストーカー被害など、生徒たちは自分の問題として、真正面から受け止め、考えを深めました。

〔生徒の感想から〕

- ・普段は誰にも聞けないけど、大切な性の知識を得ることができて、とても良かった。性について話すことには少し抵抗がありますが、いざというときには人に頼ることが大切だとわかりました。（男子）
- ・中学校の保健でも同じような講演会があったが、そのときは友人とふざけて、まじめに聞けなかった。今日の講演会を聞いて、あまりにも幼稚だったと反省した。高校生になった今、あらためてしっかり考えていきたいと思った。（男子）

- ・今回の講演を聞いて、あらためて命の重みを実感しました。生まれてくるはずだった子どもを無事に出産することができないということは、本人だけでなく、多くの人を悲しませることだとわかりました。不妊で悩む人、望まない妊娠で悩む人、双方が日本で増加していると聞き、他人事ではなく自分の問題として考えていく必要があると実感しました。これから人とつきあっていくなかで、相手も自分も互いに思いやる関係を築いていこうと思います。（女子）
- ・お話の中で一番印象に残ったのは「愛と暴力」のことです。思いが強すぎて、相手を束縛してしまうということは、とても悲しいことだと思いました。私は女性なので、生命を産み出す者として、自分も子どももパートナーも幸せに生きていけるよう、今日の講演会で教えていただいたことを忘れないでいようと思います。（女子）

2. 心を育てる講演会

昨年度の平成27年3月24日、坂本美奈子先生（道文心理研究所所長）を講師にお迎えして実施しました。30分という短い時間ではありましたが、聞き終えた保護者が、穏やかな顔つきで子どもの元に向かう姿が印象的でした。



今年度も、3月24日の合格者説明会の日に開催できるよう準備を進めています。

平成26年度事業・収支決算報告

《事業》

- 1 社員総会 定時総会；平成26年6月3日、みなし総会；平成26年7月21日
- 2 会議 理事会 4回開催
平成26年5月15日、6月3日（第2回・3回）、平成27年1月27日
- 3 調査研究事業 第4回全国高等学校安全互助会連絡協議会総会及び研究大会・福岡大会（平成26年10月10日・11日）
P T A等共済法事務担当者会議（平成26年6月5日、平成27年2月13日）
全国高等学校等安全互助会連絡協議会研修会（平成26年11月25日）
- 4 安全普及事業 (1)機器の整備 A E D（65台）の定期点検（平成26年8月）
(2)広報事業 安全振興会会報・手引書の発行及び加入案内の配布、ホームページの随時更新
- 5 助成事業 安全・健康及び健全育成等に関する実践活動への助成（10団体）
- 6 給付事業 共済金支払件数510件（死亡；1件、負傷；505件、後遺障害；3件、義歯；1件）
- 7 香料給付事業 2件

【収支決算】 1 収入の部

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	29,703,014	296,283	4,002,846	34,002,143
基本財産運用収入	0	0	0	0
特定資産運用収入	51,419	0	0	51,419
受入共済掛金	29,644,520	0	0	29,644,520
受入香料掛金	0	296,230	0	296,230
雑収入	7,075	53	4,002,846	4,009,974
投資活動	11,100,621	0	0	11,100,621
基本財産取崩	0	0	0	0
特定資産取崩	0	0	0	0
支払備金取崩	11,100,621	0	0	11,100,621
前期繰越収支差額	18,660,110	0	17,829,848	36,489,958
計	59,463,745	296,283	21,832,694	81,592,722

2 支出の部

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	49,173,012	100,000	5,126,836	54,399,848
事業費	44,372,596	100,000	209,100	44,681,696
管理費	4,800,416	0	4,917,736	9,718,152
繰入金	0	0	0	0
投資活動	350,115	0	0	350,115
基本財産取得	0	0	0	0
特定資産取得	350,115	0	0	350,115
固定資産取得	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0
次期繰越収支差額	9,940,618	196,283	16,705,858	26,842,759
計	59,463,745	296,283	21,832,694	81,592,722

平成27年度事業・収支予算計画

《事業》

- 1 社員総会 定時総会；平成27年6月2日
- 2 会議 理事会 4回開催
平成27年5月13日、6月2日（2回）、平成28年1月26日
- 3 調査研究事業 第5回全国高等学校安全互助会連絡協議会総会及び研究大会・沖縄大会への参加
（平成27年10月22日・23日）
P T A等共済法事務担当者会議等への参加
- 4 安全普及事業 (1)機器の整備 A E D（65台）の定期点検・パット交換（平成27年8月）
(2)広報事業 安全振興会会報・手引書の発行及び加入案内の配布、ホームページの随時更新
- 5 助成事業 安全・健康及び健全育成等に関する実践活動への助成
- 6 給付事業 共済金給付

【収支予算】 1 収入の部

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	29,243,130	290,590	4,001,000	33,534,720
基本財産運用収入	0	0	0	0
特定資産運用収入	61,000	0	0	61,000
受入共済掛金	29,181,130	0	0	29,181,130
受入香料掛金	0	290,490	0	290,490
雑収入	1,000	100	4,001,000	4,002,100
繰入金	0	0	0	0
投資活動	13,000,000	0	0	13,000,000
基本財産取崩	0	0	0	0
特定資産取崩	0	0	0	0
支払備金取崩	13,000,000	0	0	13,000,000
前期繰越収支差額	16,899,757	289,864	9,653,138	26,842,759
計	59,142,887	580,454	13,654,138	73,377,479

2 支出の部

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	29,023,774	284,226	6,453,000	35,761,000
事業費	29,023,774	284,226	0	29,308,000
管理費	0	0	6,453,000	6,453,000
繰入金	0	0	0	0
投資活動	18,000,000	0	0	18,000,000
基本財産取得	0	0	0	0
特定資産取得	0	0	0	0
固定資産取得	0	0	0	0
支払備金積立	18,000,000	0	0	18,000,000
予備費	100,000	0	0	100,000
次期繰越収支差額	12,019,113	296,228	7,201,138	19,516,479
計	59,142,887	580,454	13,654,138	73,377,479

《役員》

平成27・28年度理事・監事

○理事（9名）

牧田和樹（理事長） 清水好勝（常務理事）
坪池宏 寺部静祐 佐々木基安 尾上一彦
河合晃充 高畑寿太 柴田正信

○監事（2名）

森脩 藤井一範

平成26・27年度審査委員会委員（9名）

石倉明美 藤井栄治 田中利幸 國香正稔
本吉達也 品川俊男 堀正人 木村博明
藤縄太郎

編集後記

公益法人として1年半余りが経過しました。11月には県教委の立入検査があり、公益法人としての社会的責任を痛感いたしました。

今後も県内の高等学校等で学ぶ生徒等の健全育成のため、公益法人としての自覚をもっと取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

（常務理事・事務局長 清水好勝）